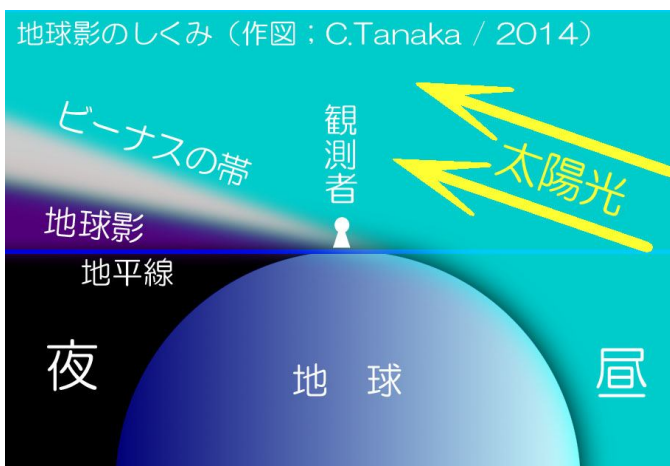


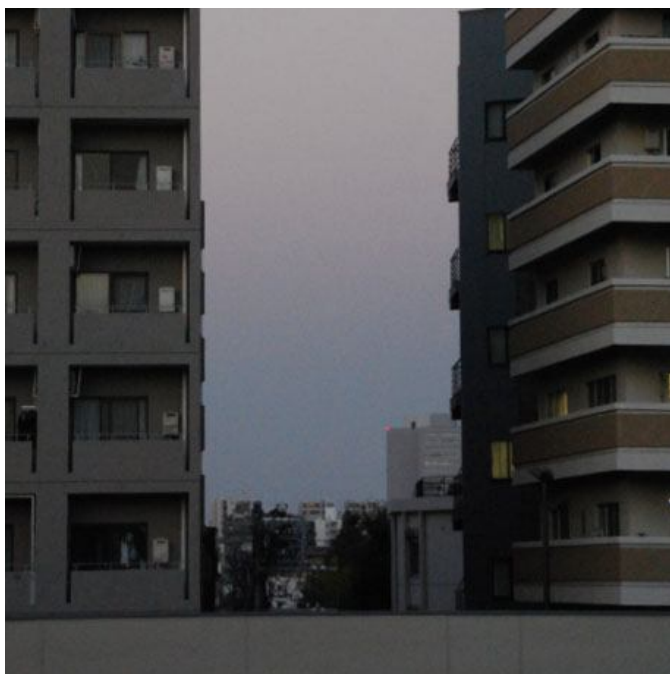
## 「東京の地球影」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

「地球影 (ちきゅうえい)」というのは、地球そのものの影が大気に反映する現象である。いわば「地球最大の影」と言える。



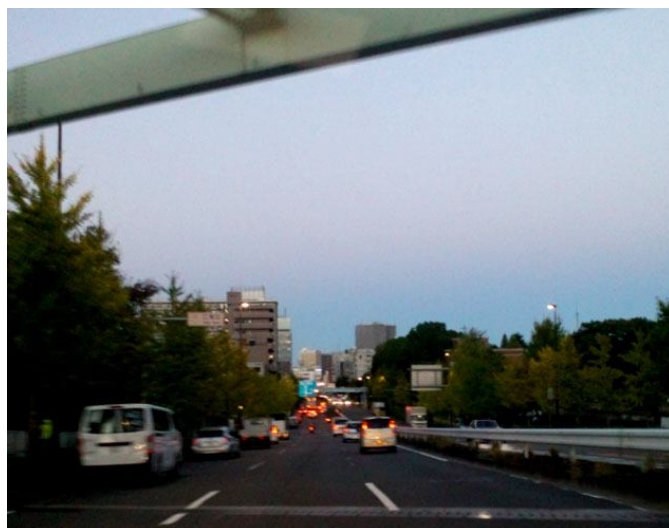
この図のように観測者が日の出直前や日没直後に、太陽の反対側の地平線を観察した時に見ることができる。朝の地球影は「まだ明けていない遠くの夜」を、夕の地球影は「すでに暮れた遠くの夜」を見ていると言いかえることもできる。



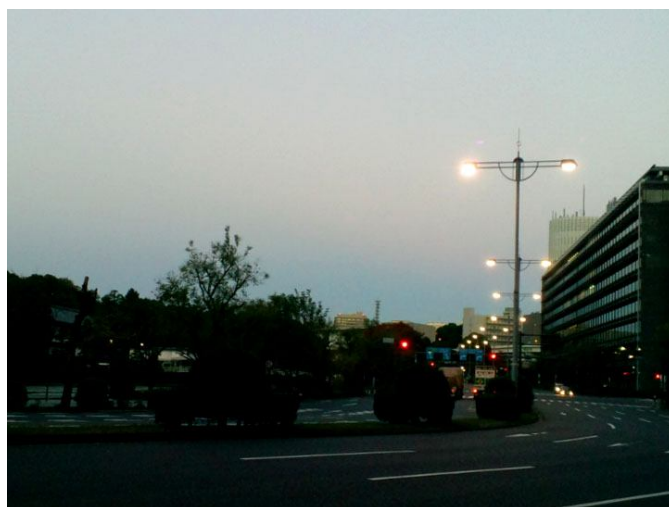
当然、地平線付近が開けた場所で観察しやすい。ところが東京都内では、建物が邪魔をして、地平線付近まで見渡せる場所はほとんどない。私の職場からも、夕方の地球影はマンションの間からわずかしか見えない。これを「隙間地球影」と呼んでいる。



しかし、あきらめてはいけない。幅員が大きく、まっすぐな通りでは、意外と遠くまで見渡せる場所がある。写真は清澄通りの月島付近の地球影である。



大きな橋の上も適した場所の一つだ。大きな橋は周囲の標高よりも少し高いことが多いので、遠くがよく見える。写真は清澄通りの、相生橋からの地球影だ。



私はこの時期、自転車通勤中に地球影を観察している。写真は、気象庁前から皇居方面を見たところ。皇居の森のおかげで、高い建物がないのだ。